

(仮称)西部統合小学校建設計画 説明会

結果報告



江津市教育委員会

説明会の結果

江津市教育委員会では、諸事情により延期しておりました西部統合小学校の建設について改めて着手することとし、建設場所は津宮小学校敷地内とする方針を決定しました。このことについて、令和5年10月から令和6年1月にかけて住民説明会を開催し、延べ130人に参加していただきました。

小学校・保育所	期 日	場 所	参加人数	備 考
津宮小学校(PTA役員)	10月 3日(火)	津宮小学校	6人	
川波小学校(PTA役員)	10月 4日(木)	川波小学校	3人	
川波小学校(全保護者)	11月 1日(水)	川波小学校	13人	
津宮小学校(評議員)	11月14日(火)	津宮小学校	14人	
津宮小学校(全保護者)	12月15日(金)	地場産センター	6人	
波子保育所	12月23日(土)	波子保育所	7人	
敬川保育所	1月13日(土)	敬川保育所	6人	
のぞみ保育所	1月20日(土)	のぞみ保育園	17人	
うさぎ山子ども園	1月27日(土)	うさぎ山子ども園	8人	「わたぼうし」保護者を含む。

各 地 区	期 日	場 所	参加人数	備 考
青山地区	11月15日(水)	青山自治会館	3人	
二宮地区	11月17日(金)	二宮地域コミセン	7人	
跡市地区	11月18日(土)	跡市地域コミセン	9人	
有福温泉地区	11月18日(土)	有福温泉地域コミセン	5人	
敬川地区	11月21日(火)	敬川地域コミセン	10人	
波子地区	11月22日(水)	波子地域コミセン	6人	
都野津地区	11月25日(土)	都野津地域コミセン	10人	

主な意見と回答

説明会でいただいたご意見の主なものを下記の項目別に掲載しています。

大項目	小項目
1. 学校施設等に関すること	①統合校舎の施設・設備について
	②工事期間中の児童への影響について
	③現在の校舎について
2. 通学等の安全に関すること	①スクールバスの通学支援について
	②登校時等の安全対策について(工事用道路含む)
3. 小学校と中学校、地域との連携に関すること	①小中一貫、小中連携教育について
	②コミュニティスクールについて
	③地域との連携について
4. 学校生活に関すること	①統合に向けての不安解消について
5. その他統合再編に関すること	①その他

1. 学校施設等に関すること

①統合校舎の施設・設備について

現在の津宮小学校は駐車場が少ないが、統合小学校では確保されるのか。(保護者・地域住民)

駐車場はできるだけ多く確保したいと考えています。

トイレは洋式にしてほしい。(地域住民)

基本的には全て洋式トイレにする予定です。

校舎にエレベーターをつけてほしい。(地域住民)

設置する予定です。

プールを設置するなら近隣から見えないように配慮してほしい。(保護者)

プールを設置するかは未定ですが、設置する場合は配慮は必要と考えます。

プールはどんな感じになるのか。個人的には必要ないと思う。(保護者)

今後設計を行う中で場所を決定することになりますが、プールを設置しない学校も増えてきており、設置するかしないか今後検討します。

説明にあったユニバーサルデザインやフレキシブルとは、具体的にどんなイメージなのか。(地域住民)

ユニバーサルデザインとは、多様な子どもに対応できる使い勝手のよい、フラットな空間とするという考え方で、フレキシブルとは、広い廊下や可動式の間仕切りなどにより様々な用途に柔軟に対応できる空間とすることです。

木材を使った暖かみのある建物にしてほしい。(地域住民)

外部に木材を使用するのは耐久上避けたいと考えていますが、内部についてはできるだけ使用するよう検討します。

放課後児童クラブはどうするのか。(地域住民)

現在の児童クラブの建物は旧幼稚園を活用していますが、老朽化が進んでいますので、統合小学校と一体的に整備したいと考えています。

統合すると放課後児童クラブの利用者が増えると思うが、新設したときに既存建物より大きくするのか。
(保護者)

統合時の児童数は、現在の津宮小学校の児童数とほぼ同じになると推計しています。児童クラブ利用者がどの程度になるかまだ不明ですので、今後施設運営者と協議します。

津宮小学校の今の教室は圧迫感を感じる。今いる子どもたちや教職員の感覚的な意見も聞いてほしい。
(地域住民)

新しく整備する学校については、木材の使用や色の工夫、教室を広くするなどして開放的な空間にしたいと考えています。当然教職員等の意見も反映させます。

学校建設に当たっては、自然エネルギーなどの活用も考える必要があるのでは。(地域住民)

公共施設を新たに建設する場合、国によりZEB化(ZEB:「Net Zero Energy Building」の略)が求められており、統合小学校においてもこの考え方を導入し、自然エネルギーを活用する予定です。

ICTの利活用について病気等で登校できない児童のため授業の配信とかするのか。(保護者)

一部の学校では実際に実施しています。新校舎ではさらに実施しやすい環境を整えます。

ICTが活用できる環境を整備してほしい。あわせて教員のスキルアップも必要ではないか。(地域住民)

ICT環境は当然整備します。ICTにかかるスキルは学校や教員によりばらつきがありますが、現在江津市版のGIGAスクール構想を策定中であり、今後小学校では最低限ここまでできるように、中学校ではここまでと市内小中学校で均一化する取り組みを進めます。あわせて教員研修も強化して、スキルアップを図ります。

適正な施設の大きさとあったが、先では児童数が減ると予想される。校舎規模を縮小するのか。
(保護者)

統合時に必要な教室数は当然確保しますが、近年特別支援学級が増えておりその点も考慮した校舎規模とする必要があります。また、作業スペースや相談室、多用途可能なスペースの設置も求められており、現在の校舎より規模は拡大するものと想定しています。

学校をつくる際に避難所とする考えはあるか。(地域住民)

地域の中心的な避難所となるような整備していく予定です。

1. 学校施設等に関すること

②工事期間中の児童への影響について

津宮小学校の敷地に建設することになると、工事中は児童や教職員に大変なストレスを与えるのではないかと。安全上も問題がある。(地域住民)

建設場所については、様々な条件を比較検討した結果、津宮小学校の敷地が最良であると判断しました。工事期間中は児童と教職員にご不便をかけることとなりますが、一方で、校舎の建設や解体をまじかで見れることは、他校にはない貴重な教育資源であり、工事現場の見学や勉強会など積極的に取り入れることで、子どもたちの好奇心を刺激できればと考えています。安全については最大限に配慮します。

在校期間は我慢だけして新校舎に入れられない子どももいる。(保護者)

工事期間が長くなることから、どうしてもそのような学年が出てしまいます。一方で、校舎の建設や解体をまじかで見れることは、他校にはない貴重な教育資源であり、工事現場の見学や勉強会など積極的に取り入れることで、思い出に残る学校生活になるよう工夫したいと考えています。また、希望があれば卒業後に見学会なども検討したいと考えています。

津宮の子だけが建設途中を見ることになる。川波の子にも見せてあげてほしい。(地域住民)

出来ていくところ解体するところを見ることは生きた教材になりますので、川波小学校の児童にも体験してもらいたいと考えています。

業間休みや昼休みに土の上で遊べなくなり子供への影響が心配。校庭の使用について検討してほしい。(保護者)

工事期間中に校庭が全く使えないのか、一部でも使えるのかはまだ不明ですが、少しでも校庭が使用できるよう施工方法を検討します。

工事が始まった際の道路の安全対策は。(地域住民)

工事用道路については、別に整備する予定です。児童の安全を確保するうえでもできるだけ通学路を通らないような方策を検討します。

今通ってる子どもたちが工事の影響をうけるのはいつからか。(保護者)

令和8年度から校舎の建設が始まりますので、その時点からと思われます。

1. 学校施設等に関すること

③現在の校舎について

現在の津宮小学校の校舎はもう使えないのか。(地域住民)

耐震化は完了していますが、校舎はすでに50年以上経過しており、大規模改修をしたとしても、数年後には改修が必要となる可能性があります。教室の広さや必要となる設備なども変わってきていますので、この際、すべて新しくして、今後も長く使える校舎にしていきたいと考えています。一部残すパターン、ほぼ残すパターンなど検討しましたが、建て替えが一番良いという結論になりました。

統合までの間は川波小学校の修繕はどうするのか。雨漏りやトイレなどは改修されるのか。(地域住民)

大規模な改修は困難ですが、危険箇所を中心にできるところは修繕していきます。

現在の川波小学校の体育館の耐震化は実施するのか。(地域住民)

耐震診断から工事まで数年かかります。統合を控え耐震化工事を実施する考えはありません。

統合後の川波小学校校舎はどうするのか。解体した方がよいと思うが。(地域住民)

基本的には解体する考えです。

川波小学校の廃校後の土地としての利用はどうなるのか。(地域住民)

廃校後の校舎は撤去する予定ですが、その後の利用については白紙であり、今後の検討となります。

2. 通学等の安全に関すること

①スクールバスの通学支援

低学年は3km以下でもスクールバスに乗せてほしい。(地域住民)

統合後のスクールバスの運用については、保護者も含めた検討会で協議する予定ですが、柔軟に対応していきたいと考えています。

スクールバスの運用は柔軟に対応してほしい。(地域住民)

跡市地区の児童はこれまでどおりスクールバスで通学することになります。有福温泉地区の児童は川波小学校へ、跡市地区の児童は津宮小学校へ通学していましたが、統合後は通学先が同じ学校になり、スクールバスの利用も効率的になります。両地区以外の児童については、基本的には学校まで3km以上の児童はスクールバス通学となりますが、どこで線を引くかは、今後保護者との協議で決定することになります。

2. 通学等の安全に関すること

②登校時間等の安全対策(工事用道路含む)

県道から津宮小学校校舎に上がる道はどうなるのか。(保護者・地域住民)

現時点では、今の道を拡幅をして対応する予定です。また、工事用道路を別に作る必要がありますので、それを利用する可能性もあります。

通学路の安全面を確保して欲しい。(保護者・地域住民)

国・県・市で通学路の安全点検を行っています。今後、津宮小学校周辺を重点的に点検し、できることから改修したいと考えています。

スクールバスが通る市道波子跡市停車場線を整備してほしい。(地域住民)

スクールバスが安全に通行できるように担当課と協議します。

グラウンドを使えない期間は江津高校のグラウンドを利用するとのことだが、そこまでの道の整備は考えているのか。(地域住民)

県道を通るのか、住宅地の中を通るのか、歩いていくのかスクールバスで送るのか、様々な手法を今後検討します。整備が必要な個所があればできるだけ対応します。

今の道では大型車両の進入は難しいと思うが、工事用車両の搬入路を作る予定はあるか。(保護者・地域住民)

現在の通学路を工事車両の進入路とするのは、構造上、安全上問題がありますので、別に整備する予定です。

3. 小学校と中学校、地域との連携に関すること

①小中一貫、小中連携教育について

青陵中学校近隣に統合小学校を建設する理由の一つに小中一貫教育の推進があったと思うが、小中一貫教育はどのようにするのか議論が足りてないのではないか。(地域住民)

小中連携教育と小中一貫教育とは混同されがちですが、小中連携教育とは、小・中学校が互いに情報交換や交流を行うことを通じて、小学校教育から中学校教育への円滑な接続を目指す様々な教育であり、小中一貫教育とは小中連携教育のうち、小・中学校が目指す子供像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指す教育です。青陵中学校近隣に建設することについて、当時、小中連携を理由の一つとしてしていましたが、現状においても、支障なく連携しています。具体的には中学校校区内の学力育成会議などで、校区で何をめざすか、どんな子どもを育てるかを小中が連携して目標を定めて取り組んでいます。

3. 小学校と中学校、地域との連携に関すること

②コミュニティスクールについて

津宮小学校はコミュニティスクールのモデル校となっているが具体的に何を行っているのか。(地域住民)

コミュニティスクールとは、学校、地域住民、保護者などによる学校の教育方針を承認する学校運営協議を設置した学校で、学校を地域とともにある学校へ転換させ、子どもも大人も学び合い育ちあう教育体制を構築して行こうとする取り組みです。これまでもふるさと・キャリア教育に取り組んできましたが、それをさらに充実させるものです。江津市では津宮小学校モデル校に指定して、年度内に学校運営協議会を設置して、来年度から具体的な取り組みを行う予定です。令和7年度までに市内全校で実施したいと考えています。

整備基本方針の「地域拠点としての学校施設」を具体的に教えてほしい。(保護者)

現在、津宮小学校でコミュニティスクールに取り組んでいますが、地域の人も学校運営に参加していく取り組みであり、それは地域に開かれた学校、地域の拠点へとつながるものと考えています。また、地域の避難場所としての機能を待たせることも考えています。

3. 小学校と中学校、地域との連携に関すること

③地域との連携について

スクールバスに乗るといことは地域から児童の声が聞こえなくなりさみしい。(地域住民)

スクールバスの乗り場までは地域内を移動することになります。多くの地域で見守り隊に子どもたちの見守りをいただいておりますが、そのつながりは引き続き残していければと考えています。

子どもみこし等地域行事に学校も協力して欲しい。そうしないと地域の衰退につながる。(地域住民)

地域活動への参加は教育上も重要であり、協力については校長にお願いしていきます。

運動会を川波小学校跡地でも開催してほしい。(地域住民)

統合後の学校運営はPTAも参加して検討されますが、その中で議題として上がれば検討される可能性もあります。

4. 学校生活に関すること

①統合に向けての不安解消について

統合後の児童数を教えてほしい。(保護者・地域住民)

令和5年5月現在、川波小学校89名、津宮小学校327名で、合計416名です。令和12年の統合時は、川波小学校67名、津宮小学校259名で合計326名と推計しています。

新しくなる学校名や制服など、可能な限り住民の声をひろってほしい。(保護者・地域住民)

制服や校名などは、保護者と教職員で検討会を設置して協議していく予定です。校名や校章については、公募を予定しています。進捗状況については地域の皆様にも情報提供をする予定です。

保護者の負担とならないよう制服や体操服などは、特注ではなく一般的に買えるものがないのでは。
(地域住民)

制服等については保護者も含めた検討会で協議する予定です。デザインや購入先なども検討することになります。

4. 学校生活に関すること

①統合に向けての不安解消について

友達が作りやすいのが小規模校のメリットだと思う。(地域住民)

小規模校のメリットは確かにありますが、大規模校のメリットが小規模校のメリットを上回るという判断で統合を進めています。

統合時期について対等統合なら同時期がよいのでは。(地域住民)

統合時期については保護者と協議して決定する予定です。事前に名目統合をして、川波校舎とする方法など様々な手法を検討します。

現在の予定では令和9年度末に新校舎が完成し、令和10年度当初に津宮小学校の児童が引越しをする予定のようだが、川波小学校の児童も一緒に入ることできるのか。(保護者・地域住民)

令和9年度末は新校舎のみが完成し、グラウンドを含む全ての学校施設が完成するわけではないことから、津宮小学校の児童のみを想定しています。ただし、川波小学校の保護者や児童が希望されるのであれば可能ですので、今後の検討会での協議により決定します。

4. 学校生活に関すること

①統合に向けての不安解消について

校庭・体育館が使えない期間はどれくらいか。(保護者)

体育館は新旧どちらかが使用できます。校庭については約3年間使用できない見込みです。

川波小学校建設当時、波子小学校と敬川小学校はほぼ同人数だった。今回は川波小学校の児童が少ないので寂しい思いををすると思う。児童の心のケアをしっかりとしてほしい。(地域住民)

心のケアは重要であり、当然配慮する必要があると考えます。

5. その他統合再編に関すること

①その他

完成が令和12年ということですからかなり先になる。当初の建設計画から10年以上経過しバックグラウンドが違ってきているがどう考えるのか。(地域住民)

当時と比較して状況は好転したわけではなく、児童数はさらに減り、建物の老朽化も進んでいますので、当時の合意のとおり統合を進めていく考えです。

西部だけではなく江津市全体の学校再編構想は示さないのか。(地域住民)

平成23年に策定した第2次江津市学校整備再編計画が現在の本市の計画であり、西部統合小学校の整備もこの計画に基づいて実施するものです。西部以外については、基本的には中学校校区に一つの小学校とすることとしています。

江津市として子供が少なくなっていくと統合するという方針なのか。(地域住民)

子供の人数のみで判断するのではなく、子どもたちにより良い教育環境を提供していくためにどうすればよいか、また、施設状況や地理的条件、保護者・地域の意向などを総合的に判断して決定すべきものと考えます。

5. その他統合再編に関すること

①その他

今後新しい学校をどのようにしていくのか中身が大切。いつまでに中身を検討して公表していくのか。
(地域住民)

今回の説明会は、建設場所を津宮小学校の敷地にしたいということにご理解をいただくためのものです。中身、ソフト的な取り組みは、お示した7つの基本方針に沿って、今後基本設計の実施に合わせて検討していくこととなりますが、できるだけ早い段階でお示しできればと考えています。

中部の統合計画も進めてほしい。(地域住民)

西部と同時に進めることは財政的にも業務的にも困難であり、西部統合小学校の整備にある程度目途が立った段階で着手する予定です。しかし、中部の小学校も老朽化が進んでいることから、早期着手も検討課題であると認識しています。

青陵中学校の近辺でということに進んでいたと思うが、どの程度進んでいたのか。(地域住民)

小中連携を目的として青陵中学校付近に建設したいという説明を当時していましたが、具体的な整備計画までは立案されていませんでした。

5. その他統合再編に関すること

①その他

基本設計から完了まで6年かかる計画になっているが、もう少し短縮できないか。設計に2年もかける意味があるのか。(地域住民)

大規模な工事となり、現在の計画上は6年はかかる計算です。

江津高校の跡地は活用できないのか。(地域住民)

島根県の統合方針は示されましたが実際にそうなるか不透明な部分があり、それを待つと統合時期がさらに延びる可能性があります。また、既存校舎は、約50年経過しており、グラウンドも令和12年に予定されている国民スポーツ大会での活用やその後の利用計画もあるようで、活用は難しい状況です。

下水道の事業範囲が事業費の関係で縮小されると聞いているが、今回の学校建設の予算の確保は大丈夫か。(保護者)

統合小学校の建設促進は中村市長の選挙公約であり、重点事業として取り組んでいます。必要な予算は優先的に確保したいと考えています。